

聖ペトロ 聖パウロ使徒（A年主日の福音を中心とする「霊的な読書」）

（一）聖書朗読：マタイ 16：13-19

人々は人のこの子を洗礼者ヨハネ、エリヤ、エレミヤとか、預言者の一人だと言っている。シモン・ペトロは、イエスがメシア、生ける神の子だと答えた。イエスはお答えになった。シモン、あなたは幸いだ。あなたにこのことを現したのは、私の天の父なのだ。あなたはペトロ。私はこの岩の上に私の教会を建てる。陰府の力もこれに対抗できない。わたしはあなたに天の国の鍵を授ける。あなたが地上で繫くこと、解くことは、天上でも同じようになる。

（二）カテキズムの響き（カトリック教会のカテキズムの番号#440-442、424、552-553、679、881；YOUCAT #129、140-141、150）

神の子という称号、神と特別に親しい関係を持つ人々と神との間に結ばれた養子身分を表しているのです。御父からの啓示を受けて、ペトロは、イエスがメシア、生ける神の子だと宣言したばかりでなく、(マタイ 16:16)、パウロもあちこち会堂でこの人こそ神の子であると、イエスのことをの述べ伝えました。(使徒 9:20) つまり、教会の礎とされたペトロによって、まず宣言されたこの考えは、当初から使徒たちの信仰の核心となってきます。しかし、そのメシアとしての王権が主の復活後に始めて、ペトロによって、神の民の前で宣言されました。(使徒 2:36)。

十二人の使徒団の中で、シモンペトロが首位を占めます。主キリストはペトロの名を与えられたメシアだけを教会の岩として、その鍵を渡し、群れ全体の牧者に立てられ、特別な使命をお委ねに成りました。聖霊の恵みに動かされ、御父に引き寄せられて、ペトロは、イエスがキリスト、生ける神の子であると信じ、公言します。それで、自ら告白した信仰の故に、ペトロは、教会の揺るがない岩となり、兄弟たちの信仰を固める使命を受けます。(マタイ 16:18)。「生きた石」(一ペトロ 2:4)であるキリストは、ペトロの上に建てられた教会に死の力に対する勝利を保証なさいます。キリストは永遠の命の主、世の贖い主として、人間の行為と心とを最終的に裁く至上権を持っている。御父は裁きの権能を一切子に任せて、その後、御子によってこの権限をペトロにお委ねになりました。(マタイ 6：19)。これは、教会という神の家を治めるための権威です。「繫ぎ、解く」権能は、罪をゆるし、教義上の判断を下し、教会の規律に関する決定を行う権威を意味します。イエスは、この権能を使徒たちの奉仕の務め、特に、ペトロの奉仕の務めを通して教会にお委ねになりました。天の国の鍵を委ねられたことによって、ペトロと他の使徒たちとのこの司牧の務めは、教会の土台をなしています。これは、教皇を頭とする司教たちによって継承されています。

（三）カテキズムの学び

（『コンペンディウム』カトリック・カテキズム要約の番号#82-83、109）

- イエスのご自分の使徒たちに権威をお授けになる：

復活の証しの使命、教え、罪をゆるし、教会を築き、統治するための権能が含まれます。

- イエスの称号：

ギリシア語で「キリスト」、ヘブライ語で「メシア」は、「油を注がれた者」を意味します。イエスは苦しむ僕として、十字架につけられた復活した主です。イエスは「神のひとり子」、御父の愛する子、三位一体の第二ペルソナです。

最後の祈り：

すべてを治められる神よ、使徒ペトロとパウロの殉教をたたえて祈ります。教会が、信仰の礎となった使徒の教えを受け継ぎ、その真理を世界に証しすることができますように。アーメン。